

今月の概要（青果物）

野 菜

入荷量は、前月中旬からの曇天や低温の影響により、果菜類で主力の九州産が入荷減となったものの、葉菜類が順調な入荷となり、全体としては、ほぼ前年並みの入荷となった。

価格は、重量野菜の消費が伸びず、全体として、前年同期を4%下回った。

品目別には、きゅうり、ピーマンが生育期の日照不足によって生育不順となったことから入荷減となり、価格は、前年同期を上回った。

はくさい、ほうれんそう、レタスは、各産地とも生育が順調だったことから、大幅な入荷増となり、価格は、前年同期を下回った。

葉菜類は、入荷が増加し、単価安となった。

果菜類は、入荷が減少し、単価高となった。

根菜類は、入荷が減少し、単価高となった。

土物類は、入荷がほぼ前年並みで、単価安となった。

果 実

入荷量は、主力のみかん、いちごが生育期の天候不順の影響により入荷減となり、全体としては、前年同期を5%下回った。

価格は、果実全般の入荷減の影響によって、前年同期を7%上回った。

柑橘類は、入荷が減少し、単価高となった。

りんごは、入荷がほぼ前年並みで、単価高となった。

メロンは、入荷が減少し、単価高となった。

いちごは、入荷が減少し、価格はほぼ前年並みとなった。